

Pioneering New Breakthroughs in Electronics

DAISHINKU CORP.

2018年3月期

決算説明会



株式会社 **大真空**

☆世界最小/最薄の新構造水晶デバイス
「Ark.3Gシリーズ」を開発

☆カーエレクトロニクス向けの販売構成比が
30%超

☆CEATEC JAPAN 2017/第19回電子部品・
材料EXPOに出展

☆天津大真空単月黒字化





業績<連結>

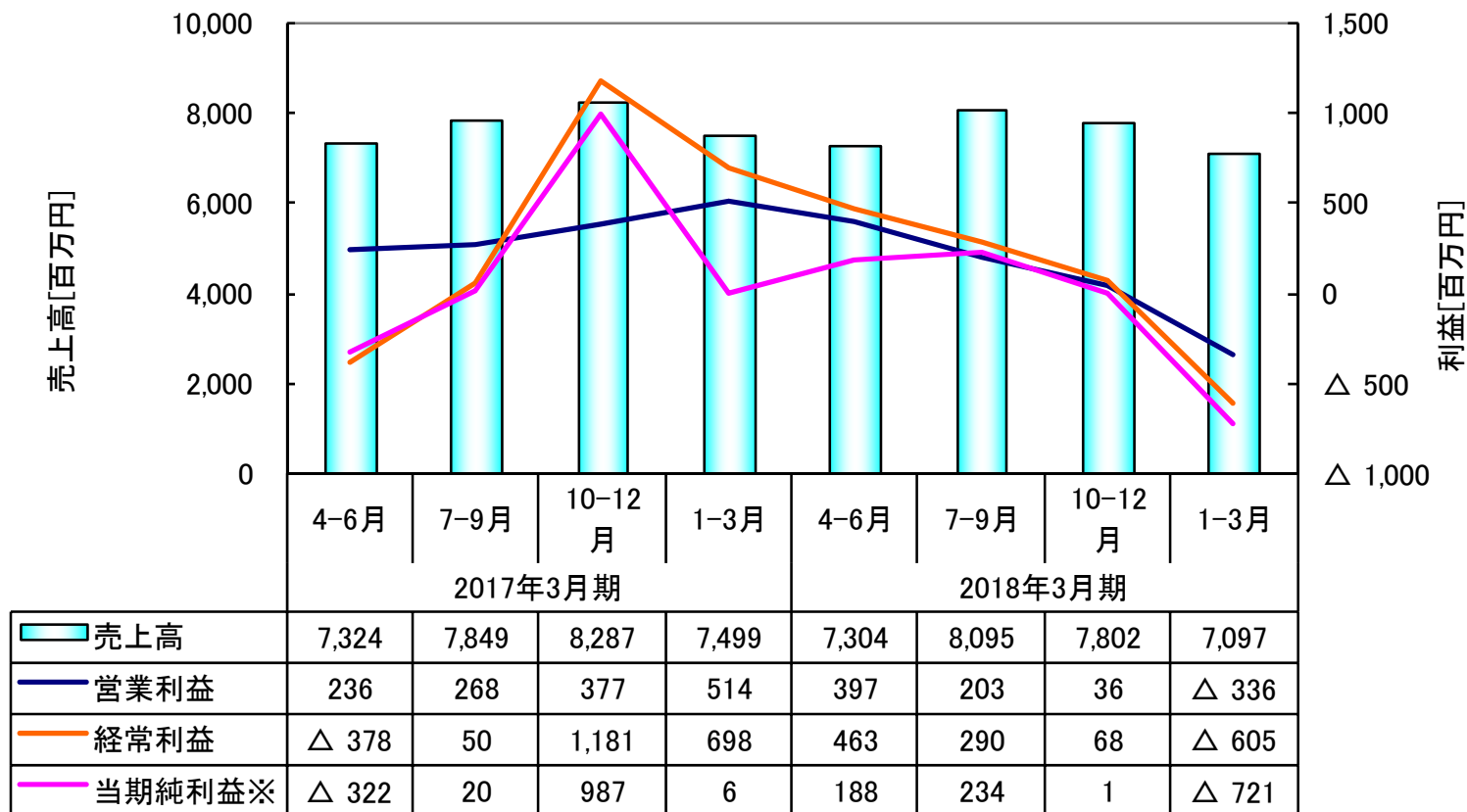
単位:百万円

	2017年3月期	2018年3月期	前期比	
			増減	増減率
売上高	30,959	30,298	△ 661 ↓	△ 2.1%
営業利益	1,395	300	△ 1,095 ↓	△ 78.4%
経常利益	1,551	216	△ 1,335 ↓	△ 86.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	691	△ 298	△ 989 ↓	-
1株当たり純利益(円)	85.64	△ 36.93	△ 122.57 ↓	-
ROE(%)	2.6	△ 1.1	△3.7ポイント ↓	-
総資産	60,819	59,408	△ 1,411 ↓	△ 2.3%
純資産	31,237	30,880	△ 357 ↓	△ 1.1%
株主資本比率(%)	43.6	43.7	0.1ポイント ↑	-
1株当たり純資産(円)	3,282.27	3,216.10	△ 66.17 ↓	△ 2.0%
USD期末レート(円)	112.19	106.24	△ 5.95 ↓	-
USD平均レート(円)	108.34	110.85	2.51 ↑	-

※当社は2016年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。このため前期実績の1株当たり純利益及び1株当たり純資産は、前連結会計年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定し、算定しております。

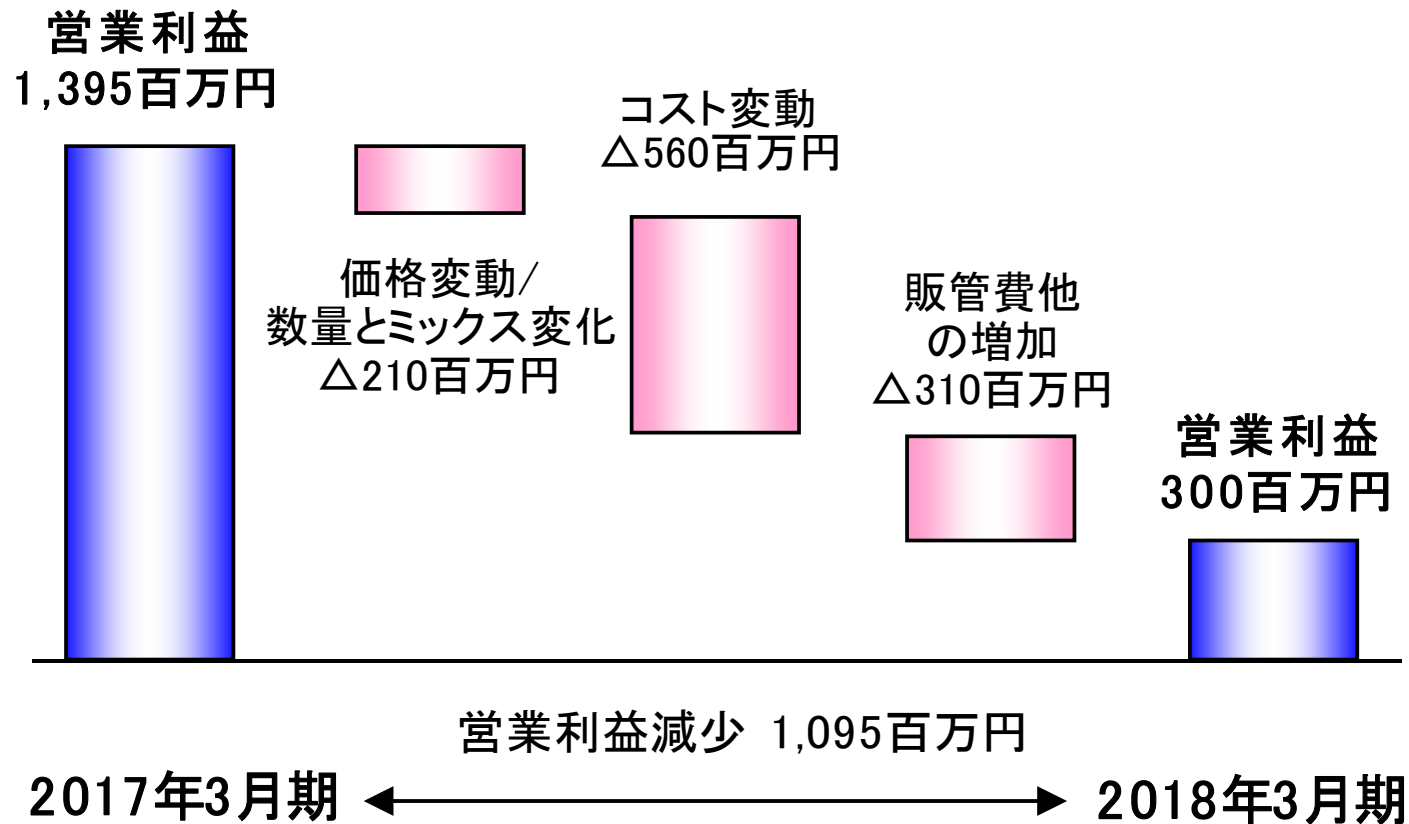


四半期業績<連結>



※親会社株主に帰属する四半期純利益

損益分析<連結>





機種別販売実績<連結>

単位：百万円

	2017年3月期	2018年3月期	前期比
一般水晶振動子	13,302	14,014	5% ↑
音叉型水晶振動子	3,527	3,039	△ 14% ↓
水晶応用製品	13,579	12,291	△ 9% ↓

- ◆ 小型水晶振動子やサーミスタ付水晶振動子の増加により、
一般水晶振動子が前期比プラス
- ◆ 中国スマホ向け高付加価値製品の減少により、
水晶応用製品が前期比マイナス



用途別販売実績<連結>

単位：%

用途別(構成比)	2017年3月期	2018年3月期	前期比
通信	40	36	△ 13% ↓
カーエレ	29	31	5% ↑
民生	19	20	△ 1% ↓
産業	10	11	16% ↑
その他	2	2	12% ↑

※前期比は絶対額の増減率

◆カーエレ分野、産業分野は堅調に推移

特に、産業分野は前期比2桁以上のプラス

◆通信分野は中国スマホの低調な推移が影響し、前期比マイナス



地域別販売実績<連結>

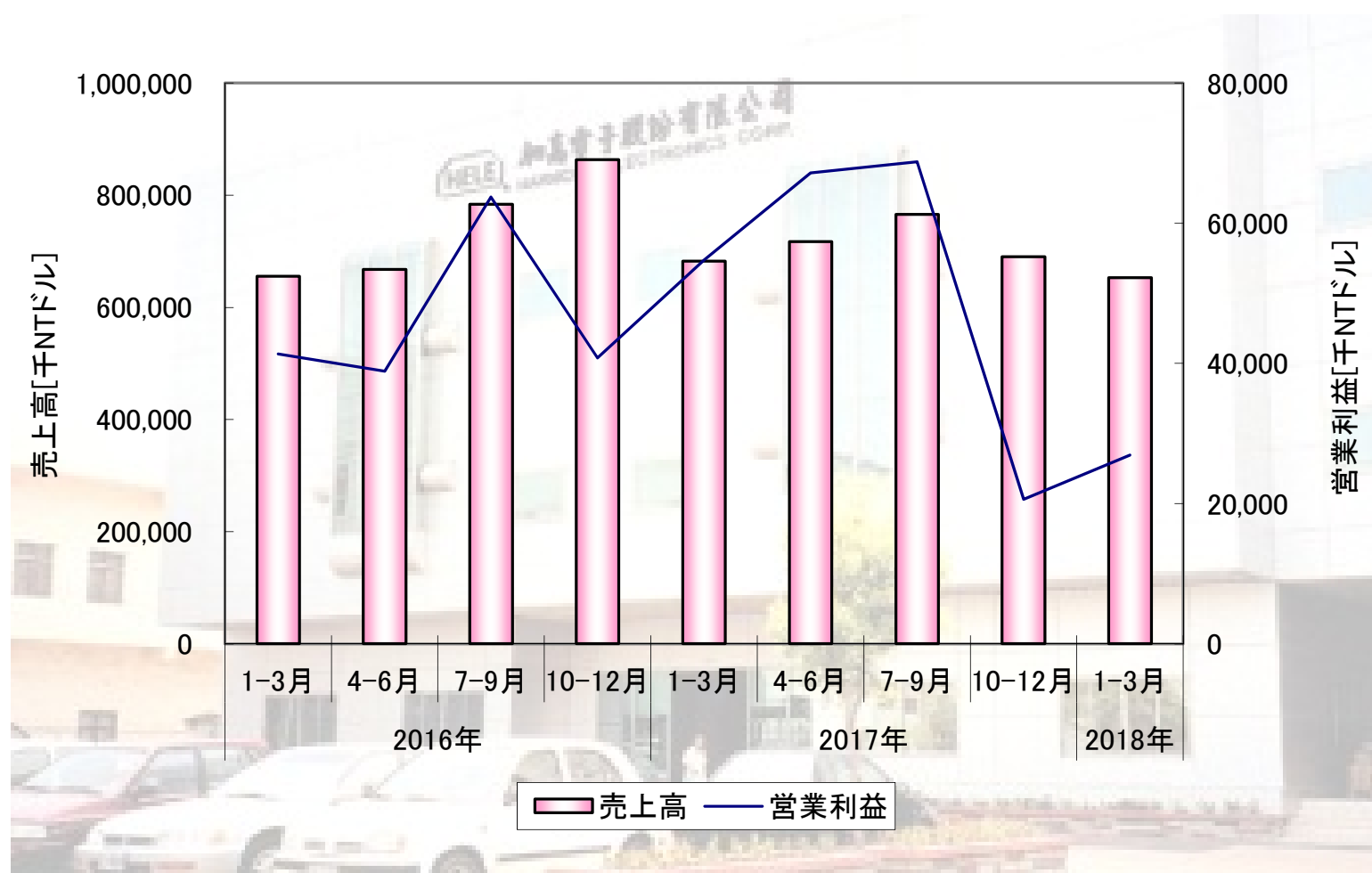
単位:%

地域別(構成比)	2017年3月期	2018年3月期	前期比
日本	17	19	12% ↑
アジア	70	65	△ 8% ↓
北米	5	6	5% ↑
欧州	8	10	15% ↑

※前期比は絶対額の増減率

海外売上比率	83	81	△2ポイント ↓
海外生産比率	48	54	6ポイント ↑

◆ 中国スマホの低調な推移が影響し、アジアでの販売が前期比マイナス

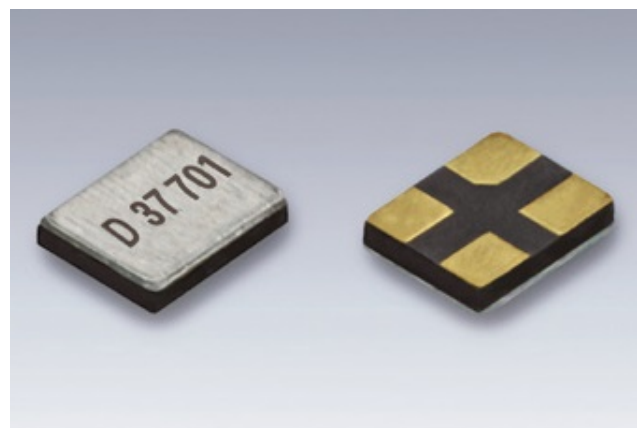


設備投資・減価償却費 研究開発費<連結>

単位：百万円

	2017年3月期	2018年3月期	増減
設備投資	3,624	2,888	△ 736 ↓
減価償却費	2,584	2,860	276 ↑
研究開発費	1,739	1,825	86 ↑

◆小型水晶振動子やサーミスタ付水晶振動子を中心に能力増強





業績予想<連結>

単位:百万円

	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	前期比	
			増減	増減率
売上高	30,298	33,000	2,702 ↑	8.9%
営業利益	300	1,020	720 ↑	238.9%
経常利益	216	1,020	804 ↑	370.2%
親会社株主に 帰属する当期純利益	△ 298	620	918 ↑	-
1株当たり配当金 中間:15円 期末:5円		-	-	-
USD平均レート(円)	110.85	106.00	△ 4.85 ↓	-
設備投資	2,888	4,800	1,912 ↑	66.2%
減価償却費	2,860	3,400	540 ↑	18.9%
研究開発費	1,825	2,000	175 ↑	9.6%



機種別/用途別の計画

単位：百万円

機種別	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	前期比
一般水晶振動子	14,014	15,600	11% ↑
音叉型水晶振動子	3,039	3,800	25% ↑
水晶応用製品	12,291	12,400	1% ↑

単位：%

用途別(構成比)	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	前期比
通信	36	35	7% ↑
カーエレ	31	31	10% ↑
民生	20	19	3% ↑
産業	11	12	15% ↑
その他	2	3	51% ↑

※前期比は絶対額の増減率

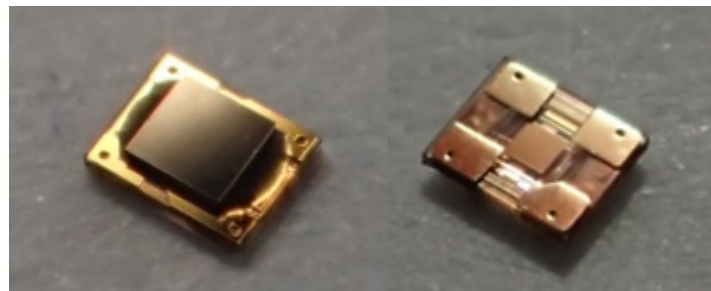


新しい期の主な取り組み

☆新構造デバイス(Arkh.3Gシリーズ)
への本格投資

☆究極のモノづくり
～ZDへの挑戦～

☆天津大真空の通期黒字化



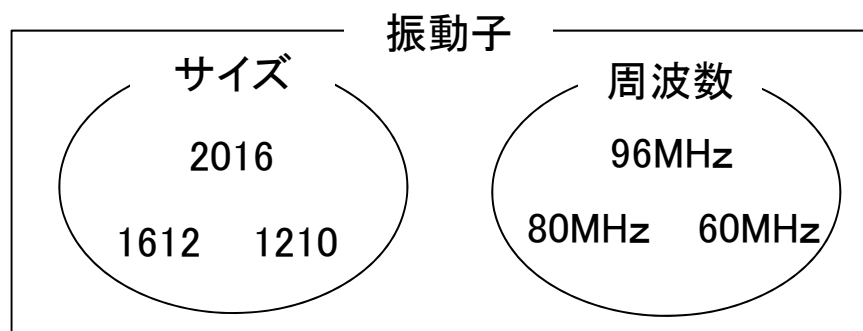
Target 10

☆ 営業利益率 **10%**以上

☆ 売上高成長率平均 **10%**以上

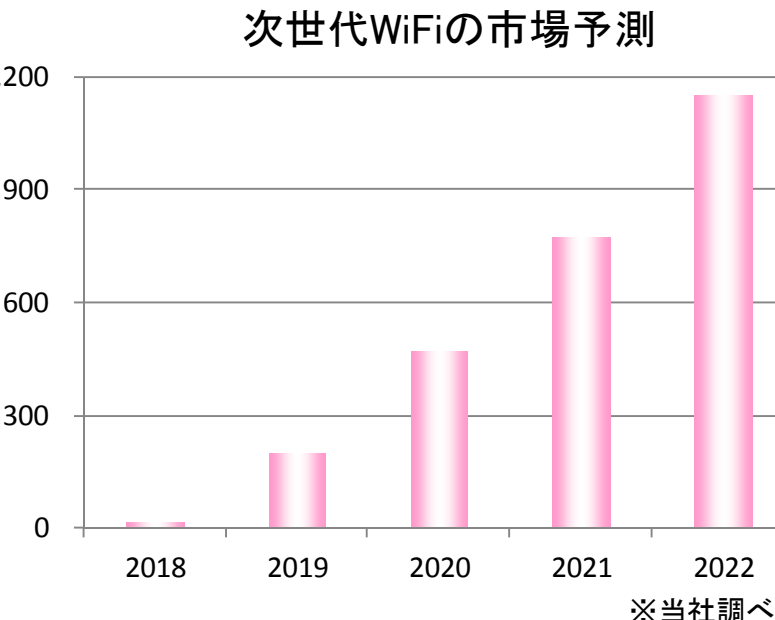
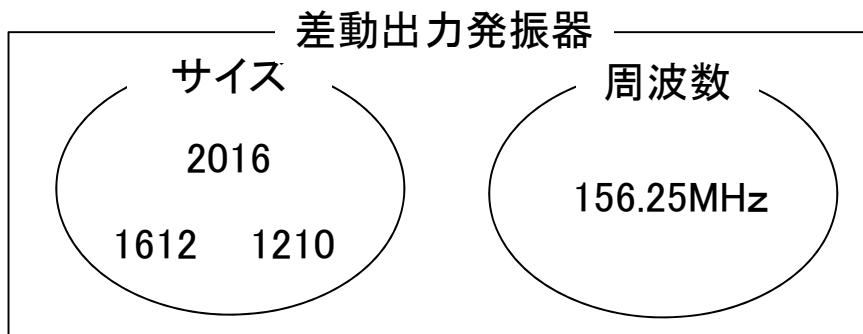
☆ 販売計画 **10割**達成 (100%)

高周波の大真空



※1008サイズ以下は新構造デバイス(Ark.3G)

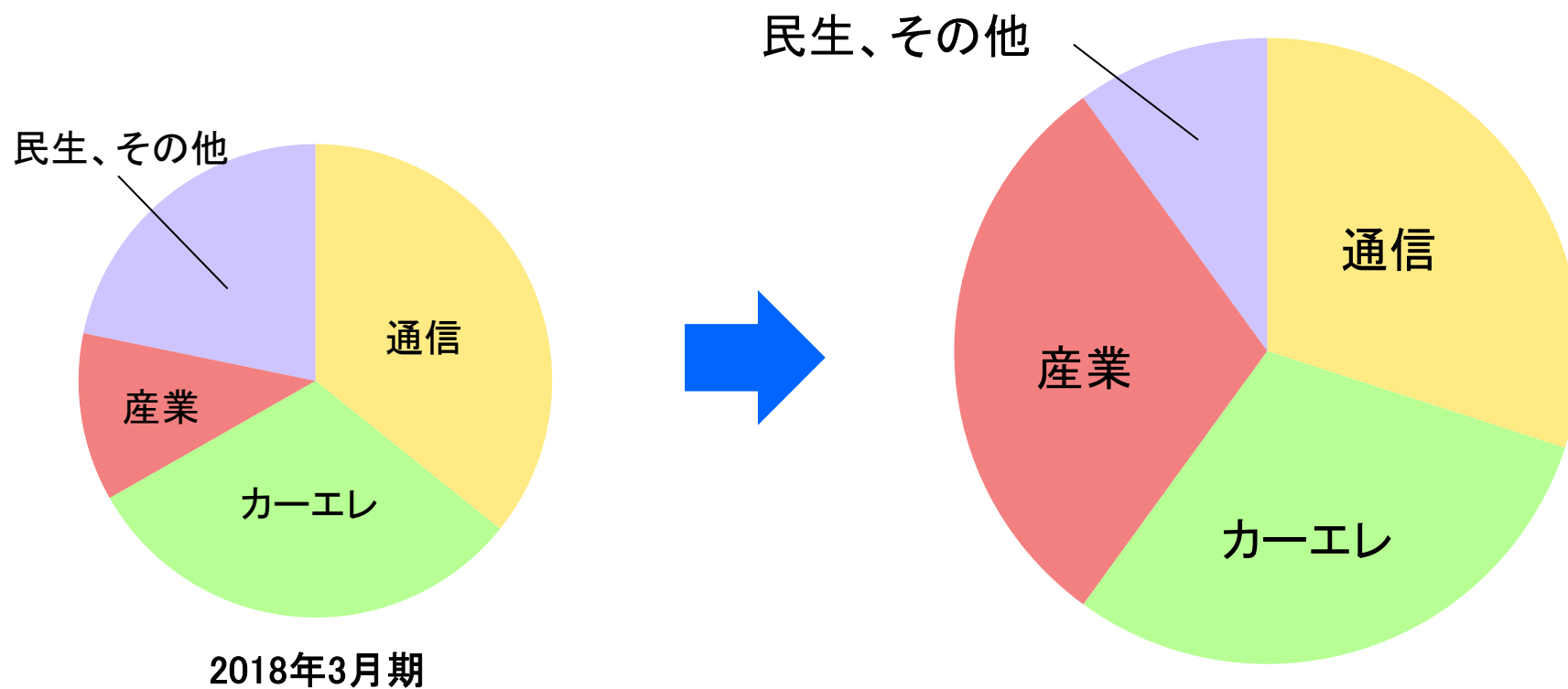
がメイン

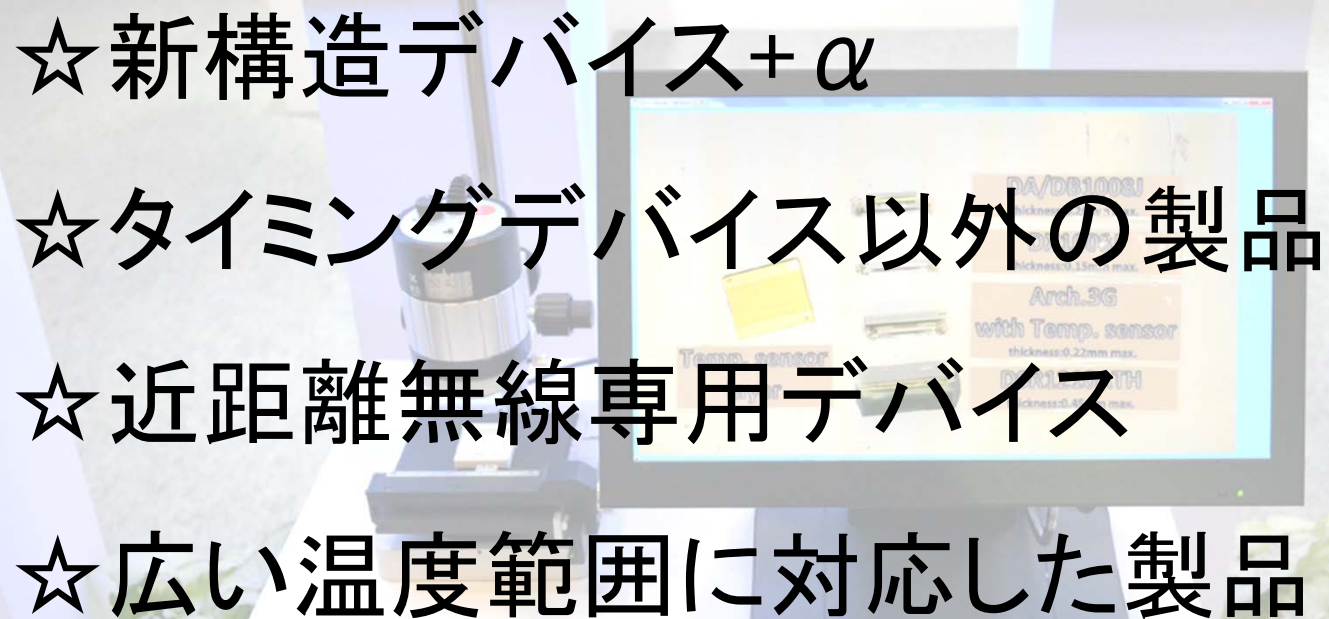


光通信向けなどに拡販

中長期の取り組み②


通信 : カーエレ : 産業 = 30 : 30 : 30



- 
- ☆新構造デバイス+ α
 - ☆タイミングデバイス以外の製品
 - ☆近距離無線専用デバイス
 - ☆広い温度範囲に対応した製品

中長期の取り組み④



A horizontal decorative bar consisting of a solid blue segment on the left, followed by a series of rectangular segments of varying lengths and shades of blue, transitioning from dark to light from left to right.

今期の業績などの予想につきましては、現時点
で得られた情報に基づき算出していますが、不
確定な要素を含んでおります。業況の変化など
により、業績予想とは違った結果になりうるこ
とをご承知おきください。